

秩父会場質疑応答

令和 7 年 1 0 月 2 1 日（火） 1 9 時

住民

5 月に東京から移住してきた。
確認したいのは、料金改定は決定事項か？

水道局

決定事項ではない。今後 11 月議会に議案提出をする予定。

住民

引っ越してきて、料金が上がると聞いてびっくりした。老朽化や人口減少というのはわかるが、人口減少を食い止めるような町おこしができなかったのか。私は秩父が好きなので、いつも活性化について考えている。
物価高騰の影響については、水道だけではなく住民もある。「水道料金が上がる＝水を使わなくなる。」という形は考えなかったのか。あと、ペットボトルでの換算の資料については、住民全員がペットボトルを買っているわけではないので、ここでペットボトルより安いというイメージを付けさせる説明に感じた。
また、東京は小池知事が無駄遣いをしているが、秩父市は無駄遣いをしていないのか聞きたい。

水道局

まず活性化については、東京や埼玉の中心地以外は、国内どこも人口減少である。私たち秩父地域も活性化するように色々な努力を行っている。定住自立圏構想などを行っているが、人口は増えない。自然減という部分もありなかなか増に至れない。スーパーで水を買う人も増えておりますが、それだけで水道の水量が減っていると捉えているのではなく、やはり、節水型の社会となっており、全国的に問題となっている。また、今回の値上げ影響額としては、1 か月 1 人 400 円ちょっと、ペットボトルで換算すると 2 本半くらい。それを全員の方が買っているわけではないが、各ご家庭ペットボトル 2 本分程度を水道料金に変えていけば、明日の水道が賄えていけるという事。私たちが安心安全の水道水が供給できるという事の思いから書かせていただいた。
市の財政については、秩父広域とは別の団体であるので、ご回答できない。

清野理事

秩父市に関する事をお答えする。人口減少については色々な手を打っているが、それ以上に全国的に人口減が進んでいる。努力をしているが人口減が止まらない状況である。だから仕方ないのだという考えではない。
また、市のお金の使い方について。全事業を可能な限り見直す方針で厳しくし、財政の健全化を目指す。継続していた事業も社会の変化で見直し、その他の事業を行うこともできるので、今まで以上に強く取り組んでいる。

富田管理者

秩父地域に移住していただきありがとうございます。移住者を増やしたいと頑張っているところ。

私からは水道事業についての補足。まず独立採算制であるという事。これは、行政の中でも特殊な分野である。広域組合が毎日水を製造して届けて、その対価を貰うという事業である。給水の収益で経営するのが健全な姿。ただ今回は料金改定をお願いするが、水道事業が完全に独立で行くと、住民の負担が急激に上がるということです。一部 15%分を一般会計から出すという事である。

住民

年金生活者です。10 年程前にテレビで放映されて、水道管が脆くなっているとの事であった。そして今回の改定ということで資料 17 ページの表を見ると収支の予測で令和 17 年度には赤字になる。また値上げをするのか。秩父に来て、他の料金も高いのでびっくりした。水道は月にすると 800 円くらい高い。さらにあがって、またその先で上がっていくのか。年金生活者は自分の力で収入は増やせない。とても困る。ぜひ一般会計とかのやりくりで何とかしてもらいたい。

石綿セメント管を年間 1 キロ改善とあるが、4 万 4 千メートルあるということは、44 年かかるということか。一生懸命やっていると思うが心配になる。

また、今後の費用を抑えて年 100 億を年 20 億に小さくできるとの話だが、元の費用が大きいことについて、計算の根拠は。

また、水道料金は減価償却費を含めた料金を私たちは払っている。そういうことを含めないで今までやって来たのか。こうなっちゃたから、こうなります。という私たち素人の考えでその場になっていうのであればわかるが、ずっと携わってきた人達が今までどの様なやりくりをやってきたのか、疑問になる。

水道局

減価償却費の件からお答えする。現在多くの設備投資を行っている。平成 28 年に統合して、国の補助金を活用しながら設備投資を行ってきた。それが減価償却費として、相当な金額となっている。水道事業は、装置産業と言われており、常に設備や管路を更新し続ける必要がある。補足資料として各市町の健全度の比較について表しているが、常に更新を進めていかなければ老朽化が進んでしまう。そのため減価償却費は高い環境にある。

今までやってこなかったのかとの事について、今の私たちが使っている水道施設は高度成長期、40～50 年前に一気に施設を整備されたもの。そのころ整備されたものが一気に老朽化を迎えるので、私たちがその老朽化をカバーしていかなければならない状況。また、石綿セメント管につきましては、我々やらなくてはいけない事業と認識している。

耐用年数を基に算出すると、年平均で 112 億円もの工事をしていかなければならないが、この工事は実際には出来ない。この工事を行うには、住民にもっと大きな負担をかけなくてはいけない。

どうしたら圧縮できるかを、23 ページにあるように自然災害に対応できる施設の

	確保、重要給水施設、避難所や病院に届ける管路を整備していこうという考え方で令和 8 年から整備を進めていく。その中で石綿セメント管に当たった場合はその都度更新をかけていきたいと考えている。
富田 管理者	まず背景としてあることだが、日本全国共通の課題がある。それは昭和 40 年代からインフラ整備が急激に進んでいるが、それらが老朽化や更新時期を迎えている。この前、八潮の陥没があったがあれは象徴的で、橋梁やトンネルなども含めて、インフラは沢山の維持コストを背負っていかなければならない。 その中で秩父地域はこのままでは厳しい状況であるという前提にたって、広域化したほうが水道事業の持続可能性を確保できるという事。 統合によってもらえる補助金がある中、10 年間で広域化の事業を行っているので、この間の設備投資はかなり大きなものとなっており、いまその減価償却費が大きくなっている。先行きも厳しいが、さまざまな工夫をして頑張っていかなければならないというのが今の状況。
住民	石綿セメント管の更新は 44 年かかるという解釈は合っているのか。
水道局	すべての石綿管をゼロにするためには計算上は 44 年かかるという事。ただ、山間地域の維持管理については、新たな方式を検討しているのでそのような地域は残ってしまうかもしれない。
住民	先ほど、管理者が持続可能な水道事業とのことであるが、秩父広域として今後どのような工夫をしていくのか。
富田 管理者	秩父地域の行政運営は 1 市 4 町の単独の行政運営とこの広域市町村圏組合、それとも一つ定住自立圏という枠組みという、大きく 3 つの枠組みがある。この広域市町村圏組合の特徴は仕事の範囲が決まっている、消防やごみ処理、火葬、介護認定、水道、また、し尿処理は統合に向けて動いている。 生活インフラにかかることを広域でやっている。 定住自立圏は、医療、観光事業、高校の活性化など、スケールメリットが必要な事を定住自立圏でやっている。これらを上手く活かしていく事が大事と考える。 単独でやった方がスピードが出ることや特徴が出ることは単独でやっている。 割とこの地域のやり方は良く出来ていると言われる。ちなみにこの広域化については、先進事例となり視察も受けている。上手く組み合わせることで、この先の厳しい未来に向かって行きたいと考えている。
水道局	工事について、今後 10 年で行うものとしては、重要施設への給水、橋立浄水場から市立病院までの給水、下水が入っている箇所を中心に一気に進めるということ。

	その他、小学校などの避難所など。能登の災害では、避難所においても、上下水道が被害を受けたという事があったので、まずは、全部ができる訳ではないので、メインの所をやっていきましょうということ。これは、秩父だけではなく、皆野、長瀬、横瀬、小鹿野も中心となる箇所をやっていき、その他、広域化の残事業を行っていくこととなる。
住民	先ほど話が合った、他の4町の重要給水施設を具体的に教えていただきたい。
水道局	横瀬は役場・町民会館、皆野は庁舎、長瀬は医新クリニック、小鹿野では、町立病院・役場・警察付近で、救急病院や透析を行う病院をメインに古いところを中心にやっていく形。長瀬では水管橋の更新も考えている。
住民	石綿セメント管残存延長ワースト12とあったが、どこの中でのワースト12なのか。
水道局	こちらについては、全国ワースト12である。全国の水道事業体1388事業のうちである。
住民	下水道料金も関連してくるのか。
水道局	秩父市の下水道課に確認したところ、現在下水道の審議会を行っているとのこと。それがどのような事になるか分からないが、来週、下水道のあり方などの住民説明会を行うとのこと。詳細は市報に掲載されているのでご確認いただければと思う。
住民	料金は11月の議会で決めるとのことであるが、今月は10月である。あまりにも近いのではないか。もっと前に説明会を行うべきではないのか。 また、自宅付近で皆野へ送るポンプ場を建設している。現場の人は暑い中で大変だと思った。 また、近所の人や知り合いに、家の前で何を作っているのかと聞かれる。近隣の人には回覧などを見ていないことも問題であるが。 また、皆野では出生が無い月もあるなど、人口が増えない状況で、今さら皆野方面にあの施設を作るということは、本当の所はどのような意味があるのか。
水道局	水道局では年4回機関紙を全世帯配布している。料金改定のことについては、令和6年2月号から多くの方に知ってもらいたく、お伝えをしてきた。今回このような形で説明会となってしまうましたが、おそらく5年後も同様に行われる予定。ご意見として頂戴したいと思う。 また、今年度7月から8月にパブリックコメントを行っている。これも各町の広報

	誌や水道だよりでお知らせしているので、ご覧いただければと思う。
水道局	ポンプ施設工事について、説明が足りなかったということで、申し訳なく思う。 あの施設は橋立からの水を受けて、皆野方面に作る配水地へ送り、皆野の谷に送るという計画。三沢には浄水場があるが、その浄水場を無くす計画。 それによりランニングコストが減る。広域化のメリットである。また、橋立などの基幹施設を強固な施設にしていくことを目指す。
住民	先ほど池をつくるとのことであるが、今ある三沢の浄水場の所に作るのか。
水道局	池というのは配水池というもので、場所は県道の先の峠の高い所に作る予定。
住民	県水統合に関して県知事に対する要望の状況は。 また、前回の改定では、秩父市1世帯あたり9千円の一般会計からの補助となっていたが、今回は1世帯いくらの補助となるか。また、36.1%になった理由は。
水道局	県への要望については、令和4年に理事が要望を行っている。そのほか、議員さん達の集まりでも、要望を行ったと聞いている。私どもも機会を捉え県への要望活動を行ってまいりたい。また、国庫補助の関係もあるので、今年2回国交省への要望活動を、直近では8月に1市4町の首長で行っている。
水道局	一世帯あたりの補助金の金額であるが、同じくおよそ9,000円になるかと思う。 51%から36.1%への圧縮について各構成市町からの繰入金がどのくらい入れられるかという所から始まっている。繰入金を増やすという方向にはいかない。令和8年度から投入されるということで、36.1%という改定率が算出されたものである。
住民	9,000円が最大として36.1%と算出されたものとして考えてよいか。
富田管理者	人口減少があるので、1世帯あたりの金額は少しズレる。基本的には一般会計からの金額は変わらないようにということ。
住民	料金改定についての説明会は市議会で決定したことによるものであるのか。
水道局	私たち広域市町村圏組合には広域組合の議会というものがある。各市町の議員から選ばれた人から構成する議会で11月に議会を行う。その議会に料金改定の議案を提出する。そこで最終決定がされる。議会の提出する前に皆様に説明会をさせていただいているということである。

住民	決定ではないとおっしゃっていたが、11 月に議会に提出する予定の 36.1%よりもっと下げる事を願う事は出来るのか。
水道局	私共本来は 51%の改定でなければやっていけない。51%が最低限の費用を算出するためのライン。それを一般会計からギリギリで入れていただき圧縮した数字が 36.1%となる。そのため、議会に諮る数字としてはこの数字を変えることはない。これはご理解いただきたい。ただそれを決定するかについては、議会の判断となる。
住民	質問ではなく感想を。非常に良い会ではあるがもっと沢山の市民に来てもらった方がよい。どのようにしたら集まるか、私も考えるが是非考えていただきたい。

～以上～